

広報

こだま

2013

Vol.16

【栗田病院 広報誌】

広報散歩“作業療法室”

フォーカス くりた人

事務部 菊池清人

栗田病院レビュー

日精協学会発表

職員運動会

芋煮会



有朋会・理念 ～私達の求める姿～

私たちの使命は、患者様、利用者様、ご家族様、地域連携機関、地域住民、有朋会職員と
いったあらゆる方々の「こころ」に、温かな（ホットな）灯りをともすこと、笑顔を増やし続ける
ことです。その使命を果たすことで、以下3つの姿を実現します。

1. 医療・介護・福祉を統合した高品質のサービスを設計・開発し提供し続けている。
2. スタッフみなが有朋会の一員であることに胸を張っており、患者様、利用者様、ご家族様に
質の高いサービスを提供している。
3. 働きたい・学びたいと希望する方が絶えることなく集まってくる。



医療法人社団 有朋会
栗田病院

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505
TEL: 029-298-0175 Mail: yuhokai@yuhokai-kuritah.com
<http://www.yuhokai-kuritah.com/>



広報散歩

作業療法室

今回は、病棟で作業療法を提供している「作業療法室」のみなさんに話を伺いました。

精神科作業療法とは？

樋山 精神疾患により生活に障害を持った方々に対し、個別あるいは集団で、作業活動（創作的なものから日常生活に関連するもの）を利用し、精神機能の向上、対人関係能力の改善、作業能力の改善などは、その人にとってより良い生活が送れるように治療・支援を行います。

スタッフ紹介

平塚 現在人数は9名。男性2名、女性7名で、平均年齢約29歳、臨床経験2〜10年で構成されています。各病棟に担当として数名ずつ配属しています。



作業療法士 樋山慶樹、齋藤由紀、平塚美紀

私たちのコンセプト

樋山 当院では、急性期、回復期、慢性期の方の入院精神科作業療法を行っています。以前、当院での作業療法は配属部署に縛られ、病棟毎のセクションリズムが生じていました。患者様が、急性期治療病棟から療養病棟へ移った際、各病棟が独自に実施している作業療法が新たにスタートするということが珍しくありませんでした。

平塚 私たちは、法人の目指す精神医療（有朋会臨床スピリット）に則り、患者様の治療時間軸に合わせた作業療法の展開を目指し、各種グループプログラムでは職員を流動的に配置することで、患者様の治療時間軸に合わせた、シームレスな作業療法が、できるような心掛けています。そして「作業療法部の全員で全ての入院患者様に作業療法を提供する。」ことを目指して日々の関わりを行っています。

患者様との関わり

齋藤 患者様と関わる上で意識している事は、病気がかりではなく、その人の人生にも目を向け、「その人自身にアプローチ」する事を意識しています。私たちと患者様との関わりは、その人がどんな人生を歩んできたのか、情報を得たり想像するところからはじまっています。

平塚 作業療法は、日常の全ての行動を「作業」と捉え、積極的に治療に活用します。そのため、特定の場所や物、時間に縛られず患者様と関わる事ができます。また、患者様はミーティングや診察の場において、「早く退院したい」などの思いから、自分を、良く見せなければ、という心理が働くことがあります。**齋藤** 作業療法の場面では、「作業」を介すことで患者様が自然体で振る舞うことが可能となり、本音が表出され、患者様が本当にやりたいと思っていること、また、治療や生活、将来への不安や悩みなどが語られることが多々あります。

での主な業務は、操作説明又は操作補助・PC機器不具合時の対応となります。定期的に委員会を開き、業務の効率化を図るための運用方法の検討等を行っています。

私の役割

医事課のリーダーとしてまとめ役を任されています。未熟な部分もあり悪戦苦闘の日々ですが、みんなの意見を汲みあげ、業務改善に繋げられるよう意識しています。

業務の質を向上させる為には、後輩の成長も不可欠です。今年度は医事課に2人の新入職員が入りました。2人の教育も私の重要な役割です。個人のスキルアップとして「診療情報管理士」の資格取得も目指しています。仕事との両立は正直大変ですが、普段の業務だけでは得る事のできない知識も学ぶ事ができるので、とても充実した毎日です。

さらに今後の診療報酬、医療形態の変動や地域の助成に目を向け、コスト削減や利益向上の為の提案をしていきたいです。

医療事務を目指したきっかけ

学生の頃、困っている人を助ける事が出来る職業に就きたいと考えていました。そこで浮かんだのが「高齢者や体の不自由な方でも住みよい医療・福祉の充実した街をつくりたい」という夢でした。その夢に近づくため、まず医療の知識を身につけようと考えた事がこの仕事を目標にしたきっかけでした。一つの分野に特化するのではなく、幅広い知識が必要とされる医療事務は、とても奥深く魅力ある仕事です。

事務部のこれから

今日の医療業界は大きな変革の時期を迎えています。

精神科作業療法の魅力

齋藤 この仕事を目指したきっかけでもありますが、精神科の患者様は人間的な魅力がとても豊富です。精神科作業療法は患者様によって、また関わる作業療法士によってもアプローチの可能性は無数にあり、その個性に惹かれるものもありました。

平塚 私たち作業療法士は自分自身が治療道具となり得ます。日々の関わりの中で患者様の警戒心を和らげ、「思い」や「能力」を引き出し、その一つひとつが治療に繋がっていくのです。

これからの作業療法室

樋山 たとえ数分の時間でも患者様と関わる事に治療的な意味があると考えています。そこで得た患者様の情報をできる限り共有する事で、アプローチに統一性が持てるようになっています。



齋藤 他の作業療法士が引き出した情報をもとに、ゼロから情報収集をスタートするのはなく継続した作業療法を提供し、さらに、様々な角度から治療に関する情報を蓄積し、関わる事ができるようにしていきたいです。また、こうした作業療法士の関わりや治療について、他職種とも情報を共有し、チーム医療の中で統合的な治療の展開に活かしていきたいと思っています。

樋山 作業療法に正答はありません。一人ひとりが常に発展し、成長し、新たな課題を模索し続けられるようにしていきたいです。

平塚 セラピストであり、また、一人の人として、患者様の人生の一部分に携われるような作業療法士を目指していきたいです。

フォーカス くりた人



当法人で働く、現場職員の声をお伝えします。

仕事内容を教えてください。

私は普段医事課で業務を行っています。医事課では、受付、外来・入院会計、診療報酬明細書作成などを行っています。

まず受付では、主に患者様とご家族様、来客や業者の対応をしています。時には患者様やご家族様から、疾患や生活の不安をお話いただく事もあります。その際は出来る限りみなさんの悩みを理解し、柔軟に対応できるようにしています。安心して病院に来ていただき、笑顔でお帰りいただけるよう心掛けています。

次に外来・入院会計は、先生が処方したオーダーや実施した検査等を医事会計システムに取り込んで、請求の不備や漏れがないかをチェックしています。ここでのミスは患者様の負担を増やし、病院の信頼も損ねかねない問題となります。迅速かつ正確な処理が求められます。

診療報酬明細書作成は、ひと月毎に患者様の受けた診療について、保険者等に請求する作業を行っています。毎月1日〜10日の間に前月分を作成しなければいけないため、短期間での集中力が必要です。

私はIT化委員会にも参加し、法人内のIT化推進活動を行っています。当法人は昨年オーダーングシステム・電子カルテシステムを導入しました。委員会



栗田病院レビュー

日精協学会発表

平成25年11月14・15日に日本精神科病院協会主催の精神科医学会に参加しました。今年は埼玉県で行われ、当院からは作業療法士の松本洋美・西田那央・和地麻理が発表を行いました。症例発表の内容と感想を伺いました。

「重度認知症患者デイケアに通う意味性認知症患者とその家族への関わり」

作業療法士：松本洋美

第2回日本精神科医学会学術大会に参加し、表題をテーマに発表を行いました。

この患者様は、意味性認知症という疾患特有の行動障害により、ご家族様の介護負担が大きくなり、在宅生活の継続が難しくなっていた症例でした。当デイケアに通所し、作業療法士として患者様の残存機能を評価し、行動障害を問題行動ではなく、活動



発表時に使った資料

を行う上での一つの手段としてうまく活かす事で、患者様に合ったプログラムを提供できた事、主治医・他機関と常に連携を図り支援した事、それらがご家族様の介護負担の軽減に繋がりを、患者様の在宅生活が維持できた事を報告しました。

今回の発表を通して、患者様、ご家族様に対し作業療法士として、重度認知症患者デイケアとして何が、何が必要なのかを改めて考える良い機会となりました。また、他病院の報告やシンポジウムでは様々な職種の視点での認知症ケアへの取り組み等を知る事ができ大変有意義な時間を過ごせました。

今回の学会で得られた事を日々のケアに活かし、患者様、ご家族様の在宅生活を支援していきたいと思えます。

「治療グループでの様子から境界性人格構造があると見立て復職支援を行った症例」

作業療法士：西田那央

私は、復職支援プログラム「リワークデイケア」に携わっています。このプログラムは、休職中の方に対し、復職後継続して働く事が出来るように支援しています。少人数のグループ制で、復職への不安や復職に関して気になる事を話し合ったり、ストレスな場面の乗り越え方を考えたりと、ディスカッションを通して行っています。今回、表題の内容で発表を行いました。症例は、診断名は双極性感情障害で



発表時の様子

ですが、治療グループの中で極端な言動や対人関係での情緒不安定等を出した為、背景に境界性人格構造があると見立て介入を行いました。言動が極端になった際には中庸な思考になるように指摘を行い、職場での行動がグループで再現されている事を自覚出来るように支援を行いました。これにより、極端ではない柔軟な思考を心がけるようになり、それに伴い、グループ内での人間関係も良好になっていきました。その後は復職され、継続して勤務する事が出来ています。対象者の障害像を見立てて介入する事の大切さを改めて学んだ症例でした。現在、プログラム参加者の障害像は多様になってきており、それぞれに対応できるような支援が求められています。今回の経験を活かし、今後もより良いプログラムを提供していきたいと考えております。

当院では、このように積極的に学会への参加や発表を進めています。個人の視野を広げ、知識の研鑽に努める事で、日々の臨床に活かしています。

初開催！職員運動会

有朋会では今年度より、職員が楽しく働ける職場作りを目的にあるプロジェクトを立ち上げました。その名も「とつぷくりんプロジェクト」。とつぷくりんとは、常識はずれなどという意味の茨城弁である「とんぷくりん」と、「突飛」という言葉を組み合わせた造語です。

第一回目の企画となる今回は、スポーツの秋ということで職員運動会を開催しました。初めての取り組みにも関わらず、多くの職員に参加していただきました。「運動会なんて何年ぶりだろう」「「ちゃん」と走れるかな。」と不安の声もありましたが、始まってみればみなさん学生の頃を思い出して大いに盛り上がりました。綱引きや二人三脚などのさまざまな競技が行われる中、一番の盛り上がりを見せたのが職員きつての快速ランナー達が代表に選ばれた「選抜リレー」でした。



運動会は部署や役職の垣根を越えた職員間の交流はもちろん、健康促進にも繋がります。今回のような企画を通して、よりコミュニケーションの活発な法人になれるよう心がけていきたいです。

今後の「とつぷくりんプロジェクト」の活動に期待です。



芋煮会を開催しました。

有朋会では、毎年秋に芋煮会という行事を開催しております。

芋煮会は、私たちが地域に開かれた病院でありたいという想いから、秋空の下、地域住民の方々や利用者の方々と大きな鍋を囲み交流を図る行事です。今年の芋煮会は地域の方や利用者様とより交流を深める事をテーマに行われました。そのため食事だけではなく、昨年より取り入れ好評であったレクリエーションを、今年も引き続き企画いたしました。



レクリエーションの内容は大人から子どもまで楽しんでいただけるよう、体感型のテレビゲームを採用しました。大型のスクリーンを使用し二人一組で行われたため、地域の方々と交流のきっかけとなり、自然と応援の声も聞かれ笑顔のこぼれる企画となりました。

大鍋いっぱいを用意した芋煮もあつという間になくなり、今年の芋煮会も大盛況となりました。

芋煮会は実行委員が企画・運営を行います。当日お越しいただく皆様あつての行事です。例年の参加を大きく上回り、多くの皆様に楽しんでいただけたいと思います。

来年もこの時期になりましたら病院窓口などに芋煮会のお知らせが張り出される事かと思えます。また、有朋会は芋煮会以外にも地域交流の行事をたくさん企画しておりますので是非お気軽に足を運んで頂きたいと思っております。

このような交流の場を大切に、地域の方々や患者様・利用者様、そして有朋会の職員が一体となり、地域に根付いた法人でありたいです。

診療案内

外来担当医一覧表

受付時間 午前 8:00 ~ 11:30 / 午後 11:31 ~ 15:00
 診察時間 午前 9:00 開始 / 午後 13:30 開始

	診察室	月	火	水	木	金	土
午 前	1 診	安部	片野	安部	栗田	鈴木	水挽
	2 診	堤	高橋	堤	田口	堀	第3,5週 吉川 第2週 鈴木 第4週 安部
	3 診				木滝	太刀川	高橋
	5 診						田口
午 後	1 診	栗田					休診
	2 診		袖山	木滝		第2,4週 安谷屋	
	3 診		佐藤	竹下		渡辺	
	6 診					上月	

初めての外来受診・入院を希望される方へ

1. 電話で患者様の情報や現在の状況をご相談下さい。
2. 次にケースワーカー（相談員）が詳しい話を伺い、その後ご予約をお取りします。

※現在他病院を受診している、もしくは受診していた場合は紹介状が必要になります。

※当日の状況により、予約内容が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

*精神科外来は完全予約制になります。

*当日のご予約は行っておりません。前日までにご予約をお願い致します。

予約電話対応時間 月～土（祝日を除く）9:00～17:00 TEL.029-298-0175

■=内科

関連施設

認知症専用デイサービス

「クリクリ瓜連」

〒319-2103 茨城県那珂市中里1365-7
 TEL.029-270-9550 FAX.029-270-9558

「クリクリ豊喰」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰28-9
 TEL.029-353-2056 FAX.029-353-2057

「クリクリ住吉」

〒310-0844 茨城県水戸市住吉町20-6
 TEL.029-248-1001 FAX.029-248-0215

「クリクリ市毛」

〒312-0033 茨城県ひたちなか市市毛上坪1186-2
 TEL.029-275-0262 FAX.029-275-0263

「クリクリ青柳」

〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3923-5
 TEL.029-231-7066 FAX.029-231-7067

グループホーム・ケアホーム

「くりの木荘」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1
 TEL.029-295-7652

ケアホーム

「くりくり」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1
 TEL.029-295-7680 FAX.029-295-7681

「くりあん」

〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3429-2
 TEL.029-231-2280 FAX.029-231-2281

自立訓練(生活訓練)事業所

「くりの実」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505
 TEL&FAX 029-295-1834

アクセスマップ

